

平成30年 4月 行動援護従業者養成研修課程(水)富雄クラス

区分	日時	科目	目的	内容	時間数	担当講師		
		9:00～ 9:30	開講式	正しく学習するために 受講の流れを理解する	0.5	事務局		
講義 10時間	4月11日 (水)	9:30～ 12:00	強度行動障害が ある者の基本理解 に関する講義	強度行動障害について理解し、 医療との連携について学ぶ	2.5	中野 美恵子		
			強度行動障害と医療	中野 美恵子				
		12:30～ 16:00	強度行動障害に 関する制度及び 支援技術の基礎 的な知識に関する 講義	強度行動障害をめぐる 制度について理解する。 障害特性を理解した適切な 支援についての基本的な知識、 PDCA(構造化、記録と再計画)、 支援手順書について理解する。	強度行動障害と制度	3.5	前野 篤史	
					構造化		前野 篤史	
					支援の基本的な 枠組みと記録		前野 篤史	
					虐待防止と身体拘束		前野 篤史	
					実践報告		前野 篤史	
	16:00～ 18:00	強度行動障害の ある者へのチーム 支援	チーム支援についての 理解を深める。	強度行動障害支援 の原則	2	前野 篤史		
		9:00～ 11:00	強度行動障害と 生活の組み立て	生活の様々な場面での 支援について学ぶ	行動障害のある人の 生活と支援の実際	2	前野 篤史	
	演習 10時間	4月18日 (水)	11:00～ 12:00	基本的な情報収集 と記録等の共有	強度行動障害者支援の重要性の 理解と固有の障害特性に 関する知識を深める。 行動の背景を考える。	情報収集とチーム プレイの基本	1	前野 篤史
12:30～ 15:00			行動障害がある者 の固有の コミュニケーション の理解	固有の コミュニケーション		2.5	前野 篤史	
15:00～ 17:30			行動障害の背景にあ る特性の理解	行動障害の背景に あるもの		2.5	前野 篤史	
4月25日 (水)		9:00～ 11:30	障害特性の理解と アセスメント	・障害特性に配慮した 支援計画の立案 ・支援の手順書の作成、 支援者への適切な伝達 ・記録の方法 ・支援の手順書の修正 等について実際の 演習を通じて学ぶ	障害特性の アセスメント	2.5	井上 恭平	
		13:00～ 16:30	環境調整による 強度行動障害の支 援		構造化の 考え方と方法	3.5	井上 恭平	
		11:30～ 12:30	記録に基づく支援 の評価		記録の収集と分析	1	井上 恭平	
		16:30～ 17:30	危機対応と 虐待防止		危機対応と虐待防止について 理解を深める	危機対応と虐待防止	1	井上 恭平
		17:30～ 18:00	閉講式		研修を振り返り、 学習内容を再確認する	研修のまとめ・修了証書 授与	0.5	井上 恭平
								25